

外壁タイル・モルタル・浮き補修工事の新工法

一つでも当てはまれば
復元屋へお問合せを!

【アンカーピンニング樹脂注入工法】

工事の音や振動、何とかならないかな

今のタイルを剥がさず直せないかな

工期も費用も、もつと抑えられないかな

アスベスト対策は大丈夫かな

環境に配慮した補修工法はないのかな

色ズレ、補修跡が目立つ

納期が短く困っている

補修した事で浮きが出ないか心配だ



Jfp工法は、建物のあらゆる浮き補修に対応します

JFP (ジャストフィットピン) 工法は

従来のタイル・モルタルの浮き補修工法における課題を、独自に開発した技術によって改善し、浮きが生じたタイルやモルタルを、より確実かつ高い強度で固定する補修工法です。施工時の振動や騒音を抑え、粉塵をほとんど発生させないことから、居住中のマンションをはじめ、業務中のオフィスや病院など、周囲への影響に配慮が必要な建物でも施工しやすいことが特長です。また、施工する建物だけでなく、その周辺の居住環境への影響にも配慮した補修工法です。

「Jfp工法」で環境に配慮した補修工事を行います！



タイル張り



石張り



擬石張り



塗装仕上げ



タイル壁画

Jfp工法だから出来る10の強み

1. 低振動・低騒音で施工

湿式研磨穿孔により振動・騒音を抑え、居住中でも施工しやすい。

2. タイルを剥がさず補修可能

浮いたタイルを張り替えず、そのまま活かして確実に固定・補修する。

3. 共浮きを防ぐ圧力制御

建物の状態に合わせ注入圧を調整し、健全部まで浮かせるリスクを抑える。

4. 工期短縮・コストを削減

タイル張替えを減らして工事規模を抑え、工期と処理コストを削減する。

5. 色ズレをおこさない

既存のタイルをピンと接着剤で固定するので色ズレによるクレームが起きない。

6. 粉塵を出さない クリーン施工

湿式ドリルと吸引機を使用し、施工時の粉塵を外部へ飛散させない。

7. 高い支持力で剥落を防止

独自形状のジャストフィットピンで接触面積を増やし、強固に固定する。

8. 補修跡が目立たない美観性

タイル近似色のピンを使用し、施工後も外壁本来の美観を維持する。

9. 廃棄物を減らす環境配慮工法

既存タイルを活用することで産業廃棄物を減らし、環境負荷を軽減する。

10. アスベスト対策も安心

アルカリ水洗浄+HEPAフィルターでアスベスト(粉塵)を飛散させない。

日本全国の
多くの建物で
Jfp工法をご採用いただいております。

施工事例



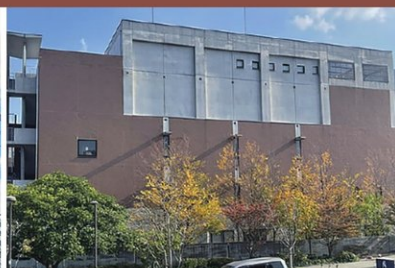
オフィスビル



マンション・集合住宅



商業施設



医療施設

公共施設



復元屋 ～未来への継承～

当社では「未来への継承」をキーワードに街の景色や景観そのものである建物を、ただ修復するだけではなく、歴史やその場所への人々の想い、思い出や記憶・記録だけでなく、実際の建築物として未来に残していくお手伝いをしております。

www.fukugenya.jp

株式会社復元屋（株式会社アカイタイル） 〒479-0003 愛知県常滑市金山字北大根山8-1

Tel. 0569-84-2002 Fax. 0569-42-2982 E-mail. info@fukugenya.jp URL. <http://www.fukugenya.jp>